

札幌市が発行する「グリーンボンド」への投資について

記

札幌中央信用組合（理事長 泉 融和、以下「当組合」という）は、このたび、札幌市が発行する札幌市令和6年度第6回公募公債（5年・グリーンボンド、以下「本債券」という）に投資をいたしましたので、お知らせいたします。

「グリーンボンド」とは、資金調達が地球温暖化対策や再生可能エネルギー等、環境問題の解決を目指すプロジェクトのために発行される債券です。

本債券発行による調達資金は、グリーンプロジェクトとして、環境性能を考慮した建築物整備事業、清掃工場整備事業、LED化推進事業、北海道新幹線建設負担金などに関連した事業に充当される予定です（注1）。

本プロジェクトにより、省エネルギー化やエネルギーの有効利用、再生可能エネルギーの導入が進み、市内の環境問題や社会課題の解決に大きく貢献することが期待されております。

当組合は、今後も投融資を通して、持続可能な地域社会の形成に貢献できるよう努めて参ります。

〔 本債券の概要 〕

銘柄	札幌市令和6年度第6回公募公債（5年・グリーンボンド）
年限	5年（満期一括償還）
発行額	70億円
発行日	令和6年11月26日（火）

（注1）本債券を発行するための枠組みである「札幌市サステナビリティファイナンス・フレームワーク」は、国際資本市場協会（ICMA）が定義する「サステナビリティボンドガイドライン2021」等への適合性について、第三者評価機関である、株式会社格付投資情報センター（R&I）よりセカンド・パーティー・オピニオン（SPO）を取得しております。

[市債発行実績](#) [（2）機関投資家向けの市債 5年満期（グリーンボンド）](#)

以上

令和6年11月25日

札幌市が発行するグリーンボンドへの投資について

〔社名：株式会社 保工北海道〕（代表者名：佐藤文明、以下「当社」という）は、このたび、札幌市が発行する札幌市令和6年度第6回公募公債（5年・グリーンボンド）、以下「本債券」という）に投資したことをお知らせします。

グリーンボンドは、調達資金が環境問題の解決を目指すグリーンプロジェクトに充当される債券です。

本債券におけるフレームワークは、国際資本市場協会（International Capital Market Association：ICMA）が定義する「グリーンボンド原則2021」等への適合性について、第三者機関からセカンド・パーティー・オピニオン（Second Party Opinion：SPO）を取得しています（SPO発行者：株式会社格付投資情報センター（R&I））。

本債券発行による調達資金は、グリーンプロジェクトとして、環境性能を考慮した建築物整備事業、清掃工場整備事業、LED化推進事業、北海道新幹線建設負担金等に充当される予定です。

本債券を発行するための枠組みである「札幌市サステナビリティファイナンス・フレームワーク」について、対象事業が各種原則およびガイドラインのカテゴリーに該当することがR&Iにより確認されています。

引き続き、当社は、地域・社会や環境との共生、経済・企業との安定的な成長共有の観点から、本債券をはじめとしたESG領域における投融資を一層推進してまいります。

<本債券の概要>

銘柄	札幌市令和6年度第6回公募公債（5年・グリーンボンド）
年限	5年（満期一括償還）
発行額	50億円
発行日	令和6年11月●日（●）

以上